

2021 年（令和 3 年）7 月 7 日

大庭小だより



藤沢市立大庭小学校

校長 小野田 孝子

ホームページ URL <http://www.1.fujisawa-kng.ed.jp/eohba>

自然の恐ろしさ



先日は7月に入ったと同時に大雨での休校となりました。保護者の皆様には、朝早くのメールでの対応にご協力いただき、ありがとうございました。

梅雨独特の長雨が、「しとしと」という表現から「ザーザー」という言い方に変わってきたのは、ここ数年のことだと思います。昨年、一昨年と各地で大雨の被害を聞くにつけ、他人事とは思えない緊迫感を感じてきました。今年は、ここ神奈川県被害も大きかったのですが、静岡県熱海市の状況を映像で見て、自然の驚異をまざまざと見せつけられた思いです。山など丘陵の多い地形はどこにどんな危険が潜んでいるかわかりません。いざ、何か起きた時にどうするのか…常に心のどこかで考え、決して忘れてはならないことだと、改めて身が引き締まる思いでした。

大庭小は幸いにも、近くに河川がありませんが、川の増水の脅威は本当に恐ろしいものです。私の家の前は小さな川が流れており、普段穏やかな水量の少ない川なのですが、十七、八年ほど前に増水し、氾濫したことがあります。一時間に記録的な大雨が降り、あっという間に様相が一変しました。しかも、水量の増加は一気にきます。窓から随時様子を見ていましたが、「まだ、大丈夫…」の一言からほんの一瞬で川の水は道路に流れ込みました。「命を守る行動」の意味を目の当たりにしたように思います。

日本は四季の移ろいを感じられる温暖な気候の国でしたが、近年の自然災害を見ると、大雨はまるで熱帯の「スコール」のような激しさを感じます。尋常ではない暑さの夏があったり、記録的な大雪に見舞われたり、今までと違う状況がいたるところで見られます。コロナ禍で今まで通りが通用しなくなった日常生活ですが、今の生活には「今まで通り」が立ち行かなくなっている部分も多くあるのだと思いました。災害への備えも日々情報を上書きし、新たな視点を持ちながら、現状にあった予防に努めていく必要があるのだと強く感じました。



今年度は、教職員一丸となってコロナ禍ではあっても、歩みを止めず、前へ進むことを合言葉に学校運営を行ってきました。「工夫をすれば、～ができる」こんな言葉を耳にするにつけ、前へと進んでいることを実感しました。コロナ以前に戻るというよりは、コロナと共に新しい方法が出来上がっていくような気がします。「ピンチはチャンス」最近になってよく使われる言葉です。1つでも多く、チャンスがものにできるよう、今後も工夫を続けていきたいと思っています。1学期もご協力ありがとうございました。

【7月行事予定】

※新型コロナウイルス感染状況により、予定を変更する場合があります。

- 1 日（木）テストメール配信
- 2 日（金）PTA 会費集金→9 日（金）に変更
- 7 日（水）委員会活動③
- 14 日（水）1～3 年 交通安全教室
- 16 日（金）給食終了
- 20 日（火）1 学期終業式



※8月11日（水）～15日（日）学校業務停止期間

【2学期以降の主な行事】

9月

- 1 日（水）2 学期始業式
- 3 日（金）給食開始（全学年、4 校時で下校）
- 17 日（金）～18 日（土）5 年生八ヶ岳野外体験教室（21 日：振替休日）
- 23 日（木）～24 日（金）6 年生日光修学旅行（27 日：振替休日）

10月

- 23 日（土）運動会（仮称）（25 日：振替休日）

11月

- 4 日 9 日 11 日 12 日（希望制 個人面談）
- 29 日（月）1・5・6 年 授業公開
- 30 日（火）2・3・4 年・おおば級 授業公開



12月

- 24 日（金）2 学期終業式

※個人面談、授業公開については詳細が決まり次第ご連絡いたします。

学校業務停止期間について

8月11日（水）～15日（日）の5日間は、学校業務停止期間になります。この期間は、「当番等を置かずに、学校として業務を行わない日」になります。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



「メール配信」についてのお願い

先日の臨時休校の際にも、各ご家庭にメールにて連絡していましたが、気づかず登校してしまった児童も複数いました。今年度ご家庭に配付している「非常災害が発生した場合の対応」にも明記してありますが、**午前6時30分現在で警報が出ている場合**（藤沢市）、原則自宅待機となり、学校からメールにてその後の登校などについてお知らせすることになっています。お忙しい朝の時間とはなりますが、前日からの雨風等の状況を見ながら、メールについても気にかけてくださるようお願いいたします。

忘れ物について

以前より、下校し帰宅してから忘れ物に気づいて学校に取りに来るという場面が多く見られました。焦って学校に向かう時ほど、危険なことはありません。「早く行かなければ…」「急がなきゃ、〇〇に遅れてしまう…」急ぐあまりに、横断歩道の確認がおろそかになってしまったり、近づく車に気づけなかったり。いつもと違うというのは、誰もが平常心を失いがちです。また、冬場などは夕方になると真っ暗になってしまい、学校への往復の際にも事件事故に巻き込まれる可能性が高まるなど、危険を伴います。

そこで、今後は忘れ物を取りに学校に来ることは基本的にはしないようにお願いします。宿題などを忘れて帰らないよう、担任からも下校時に声をかけていきますが、まずは自分でしっかり持ち帰る習慣作りが大切です。時には、忘れてしまったことにより自分が困る経験をすることもあるかもしれません。ですが、困った経験をしなければ、自分自身の意識が高まらないのも事実です。今はまだ、「忘れたら取りに行けばいいや…」という気持ちが勝っていると思うので、ここはしっかりと意識改革から始めてみたいと思います。是非ご協力をよろしくお願いいたします。

※どうしても、という物については17時までに学校まで電話でご相談ください。

不審者情報について

登下校時や放課後などに、不審者・不審車両・声かけ・つきまといなどの情報を見たり聞いたりした場合、一番の連絡は**警察（藤沢北警察署 45—0110）**へお願いします。藤沢北警察署では、通報があればすぐに対応することになっているようで、近隣をパトカーでパトロールするなど、安全最優先で動いてくださいます。「まず、学校に」と思われている方も多いようですが、学校に連絡した後に警察へと連絡していると、時間が過ぎてしまい、初動が遅れてしまうことになります。知り得た情報などは、まず藤沢北警察署に連絡し、その後学校にも情報提供という形で動いていただけるとありがたいです。**まずは藤沢北警察署（45—0110）へ！**

よろしくお願いいたします。

通学路調査のお礼

通学路危険箇所調査に関しまして、地区委員の皆様を初め、PTAの多くの方々から、危険と思われる地点を挙げていただきました。ご協力ありがとうございました。教育委員会とも連携しながら、改善できるところは早急に対処してもらい、子どもたちが安全に通学できるよう進めてまいります。引き続きご協力をお願いします。



夏休み講演会のお知らせ①

夏休みに各種、講演会が開催されます。ご興味ある方はぜひ足をお運びください。

(オンラインのものもありますのでご活用いただければと思います。)

藤沢市教育文化センター 教育文化講演会 変化する時代に生きる子どもの心を育てる ～アドラー心理学からの大人の関わり～

社会性、創意工夫力、臨機応変力を育み、自立心・責任感・貢献感を子どもが身につけるには、周りの大人はどのように関わればよいのでしょうか。子どもを伸ばすアドラー心理学の4つのキーワードである「尊敬」「共感」「信頼」「勇気づけ」の理解を深めることを通して、よりよい関わりかたを一緒に考えましょう。

〔講師〕 有限会社ヒューマン・ギルド
代表取締役 岩井 俊憲 氏

〔経歴・資格等〕

アドラー心理学カウンセリング指導者、上級教育カウンセラーの資格を持ち、勇気づけによるコミュニケーション研修全般(リーダーシップ、コーチング、カウンセリングマインド、メンタルヘルスなど)を30年以上に渡り行っています。

と き 8月17日(火) 14:00～16:15
(入場無料 手話通訳有)

ところ 湘南台文化センター市民シアター又はオンライン

定 員 会場参加100人(先着順)

申込み (会場参加)電話 Tel (50) 8300

(オンライン参加)申込フォーム(二次元コード)

7月12日(月)～7月30日(金)

電話受付 平日 8:30～17:00

問合せ 教育文化センター Tel (50)8300



夏休み講演会のお知らせ②

令和3年度

保護者用

特別支援教育講演会

1. 日 時 2021年(令和3年)8月26日(木)
受 付 13時00分～
講 演 13時30分～15時30分

2. 場 所 神奈川県立総合教育センター 1階 大講堂
＜所在地＞神奈川県藤沢市善行7-1-1

3. 対 象 保護者、教職員、保育士

4. 演 題 「感情や社会性の発達と具体的な支援のあり方」
～ソーシャルスキルトレーニングを活かして～

5. 講 師 渡辺 弥生 先生
(法政大学文学部心理学科 教授)

【主な著書】

『子どもの「10歳の壁」とは何か？乗り越えるための発達心理学』(光文社2011年)

『人前での叱り方・言い聞かせ方』(PHP出版2012年)

『イラスト版子どもの感情力をアップする本』

『自己肯定感を高める気持ちマネジメント50』監修(合同出版2019年)

ほか 著書多数

6. 定 員 先着100名

- * 本講演会は、令和3年度神奈川県教育研究所連盟研究協議会「教育相談・支援教育部会」との合同開催となります。
- * 参加希望の方は、7月21日(水)までに学校教育相談センターまでお申し込みください。手話通訳を必要とされる方は、申し込みの際にその旨お伝えください。
- * お子様同伴で講演会にご参加いただくことはできません。また、講演会中の一時預かり等の対応もできませんのでご了承ください。
- * ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。お車でのご来場はご遠慮いただきますようお願いいたします。
- * 感染症の拡大状況や当日の天候等により、やむを得ず中止とする場合がございます。実施状況につきましては、藤沢市教育文化センターのホームページでご確認ください。

事務局：藤沢市教育委員会教育指導課 学校教育相談センター
TEL 0466-50-3550
FAX 0466-50-8423
担当：寺西